

文化は生態に相対するものではない。むしろ、文化は様々な共同体で生態が取る姿である。ある文化は他の文化と異なるかもしれない、しかしその差異には限度がある。それぞれの文化は、人間という種の潜在的な生態的共通性の表れであるに違いない。人の本質と文化の間に長期的な対立はありえないだろう。というのも、もしそのような対立があるならば、人の本質が常に勝ち、そして文化は常に負けるだろうからだ。

採点基準

- ・文化は生態に相対するものではない。
- ・むしろ、文化は様々な共同体で生態が取る姿である。
- ・ある文化は他の文化と異なるかもしれない、しかしその差異には限度がある。
- ・それぞれの文化は、人間という種の潜在的な生態的共通性の表れであるに違いない。
- ・人の本質と文化の間に長期的な対立はありえないだろう。
- ・というのも、もしそのような対立があるならば、人の本質が常に勝ち、そして文化は常に負けるだろうからだ。